

～生徒数最多・全国入賞者数最多～ 驚異の道場経営・極意皆伝



道場経営の成功法則

養正館館長
渡辺貴斗

【第23回】 ローカルSEOとは？（4）

知名度を上げる

前号に引き続き、Google マップの検索で上位 3 枠に入るための施策について考えていきたいと思います。「関連性」、「距離」、「視認性の高さ」、この 3 要素で順位が決定されます。今回は、「視認性の高さ」について考えていきましょう。

★視認性の高さとは

「視認性の高さ」とは、知名度（あなたの道場がどれだけ広く知られているか）を指します。「関連性」のときは内部対策でしたが、こちらは外部対策となります。ビジネスプロフィールは、オーナーであるあなたの努力で内容を充実させることができますので内部対策です。知名度は外部からの評価ですので、習い事サイトのようなポータルサイト、新聞・雑誌・テレビなどのメディアにあなたの道場が取り上げられることで、幅広く名前が知られることとなります。よって「視認性の高さ」は、ビジネスプロフィール以外の、外部の対策となります。

★Google マップで直接検索

Google マップで「空手道場 養正館」と直接検索すると、養正館の道場情報が出てきます。特に PC 検索では、最下部までスクロールすると、ウェブ検索結果が 3 件表示されます（モバイル検索では表示されません）。実際に、次の 3 件が表示されました。

- 1 番目；養正館のメインホームページ「静岡県沼津市の空手道場 養正館」
- 2 番目；養正館のサテライトホームページ「沼津市で礼儀やしつけに良い習い事なら」
- 3 番目；税理士法人のホームページ「空手道場 養正館」の外部記事

★Google で直接検索

次に、Google で「空手道場 養正館」と直接検索すると、同様に道場情報が出てきます。さらに PC 検索ではウェブ検索結果が 6 件、モバイル検索では以下の 7 件が表示されました。

- 1 番目；養正館のメインホームページ「静岡県沼津市の空手道場 養正館」
- 2 番目；養正館のインスタ「空手道場 養正館」
- 3 番目；税理士法人の記事「空手道場 養正館」
- 4 番目；ポータルサイト、エキテン「空手道場 養正館」
- 5 番目；養正館のインスタ記事「空手道場 養正館には～」
- 6 番目；JK ファンの記事「空手道場 養正館」
- 7 番目；ポータルサイト、コードモブスター「空手道場 養正館」

★どれだけ知られているか

上記のウェブ検索結果とは、Google の機械が

ウェブ上で養正館の情報や記事が書き込まれているこれらのサイトを見つけ、検索キーワードに適合する順、関連の高い順に表示したものです。このように、ブログ、SNS、情報まとめサイトなど、多岐にわたってウェブ上から関連サイトが拾われてきます。ローカル検索結果のランキングには、つまり上位3枠に入るためには、このような情報（どれだけ広く知られているか）も加味されます。先月号で述べました「関連性」、「距離」、および今回述べました「知名度」を併せてGoogleは計測し、順位を決定しているのです。

★検索しても出てこない

直接検索したときに、あなたの道場に関する情報が何も出てこない場合は対策が必要です。まず、信用のおけるウェブサイトにあなたの道場を取り上げてもらったり、SNSやブログで発信したり、ホームページを作ったりしてください。そうすることで「視認性（知名度）」が高まりますので、先月号で述べました「関連性」との相乗効果で、順位は上がっていきます。

★SNS投稿を連携させる

ブログやインスタの投稿内容が、自動でGoogleマップ「最新情報を追加」の項に連携されるサービスもあります。週1回以上のSNS投稿を目指せば、「最新情報を追加」の項は常に新しいものとなっていきますので、クローラーが巡回してきたときに、



高く評価されます。週1回くらいの頻度で見回りに来ていると思われますので、週1回は投稿して「最新情報を追加」の項を停滞させないようにしましょう。「流れる水は腐らない」という、ことわざもありますね。

PROFILE

■渡辺貴斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。7歳から研修会副会長・渡辺貞雄（父）に師事。

2001年に父の町道場を継ぎ、2006年からコーチングを導入した指導法に切り替えると、2010年に全少優勝者を早々に輩出。その後、2014年7名、2015年7名、2017年9名など、1道場からの「全少の全国最多入賞者数」を少なくとも8年連続で記録する。

1道場に380名の道場生が在籍し、道場経営でも全国一を誇る。100回以上続いたJKFanでの連載「ZENSHOに行こう」で、空手キッズの指導にコーチング理論を導入し体系づけた空手界の第一人者。東京大学大学院博士号を持つ異色の指導者でもある。

空手道場 養正館／静岡県沼津市本田町11-12



Column

子供への声掛けと道場経営に役立つ！ 人生を変えるオススメ本！（第22回）

■土居正博著 『子供の聞く力、行動する力を育てる！指示の技術』★★★★☆

本書では、指示を減らしたり、なくしたりして、子供を自立させていく方法について述べられています。全部で56のチャプターに分かれていますが、そのうちの第3章、4、5の「理由を考えさせる」「自己決定の機会を設ける」を取り上げてみます。これを道場の稽古に置き換えて考えていきましょう。

子供達に、「なぜ君たちは休みの日なのに強化練習に来たのですか？ 普段の稽古で十分ではないですか？」のように尋ねます。すると、誰も手が挙がりません。

そこで、「わからないということは、お母さんに叱られるからイヤヤ来た、ということでしょうか？ なるほどね」などと発破をかけます。

すると、2人ほど挙手をする子が現れます。「もっと上手くなるためです」、「来週の試合で金メダルを取るためです」などと答えます。そこで、「じゃあ、もっと上手くなるために、強化練習の他にできることはあるかな？」と尋ねます。すると「ビデオで撮った自分の形の研究をします」、「先生にいつも注意されている立ち方を完璧にします」など、自ら考える時間を作ります。

さらに、「1週間後に試合ですが、今日の強化練習では、どんな練習をすべきですか？」のように尋ねると、「1週間前なので、仕上げをするために…」、「1週間前だけど、私はあえて、立ち方などの基本を…」などと意見を出してくることでしょう。

1人目の練習方法を採用し、みんなで15分ほど練習します、次に2番目に挙手した子の練習方法を採用し15分ほど練習します。最後に、「先ほど皆さんが考えた、今何をすべきかについて、15分間自由時間をあげますから、自分が良いと思う方法を試してみてください」のように提案します。指導者は巡回しながら声をかけていきます。最後に、こんな練習を考えた人がいます、こんな工夫をしている人がいました、などと、みんなでそのアイデアを共有します。子供が考え、自ら動くようになるためには、自分で自分のことを決めていく、自己決定の機会を設けるようにします。

そもそも、なぜ休みの日にわざわざ強化練習をやるのか、その行動の理由を問い、自ら考えることができれば、そのために何をすべきか自ら行動に移せるのですね。